

2021.7.15

## 三国志を楽しむ科

### <第2回講座>

- \* 日時 : 7月2日(金) 09:45~11:45
- \* テーマ : 関羽 一神になった英雄—
- \* 講師 : 竹内真彦先生



前回4月は正史「三国志」と小説「三国志演義」の違いを説明していただきましたが、いよいよ登場人物の詳しい解説に入り今回は「関羽」です。

体格が大きく武に長け超人のイメージがある関羽、真面目で律儀な性格は誰もが知るところですが、今回は関羽がどのようにして「神」と崇められるようになったかを、三国志を扱う様々な書物から解説していただきました。(関羽の色は緑ですが、神としては南で赤だそうです)

道教では財神としての信仰が盛んで、中華街やその近辺には関羽像がよく見られるとか。しかし今日の関羽信仰は、その武勇から武の神、天神と崇められているようです。道教で「元帥神」と呼ばれる場合は地獄の首切り役人の意味合いがあり、非業の死を遂げた関羽をある種「祟り神」と見たことに端を発しているのかも。

その他、真実とは別として、関羽の生首が口を開き曹操が卒倒した話や、突然天から関羽を呼ぶ声があり関羽は刀(万人)と馬(赤兔馬)を捨てた話、関羽の死と刀の入水の話など関羽が並みの人間ではないことを連想させる逸話を紹介していただきました。

今回の講座ではちょっと変わった切り口から関羽を知ることができ、新しい発見がありました。

